取扱説明書

DAYTONA

VELONA ELECTRICAL GAUGES

VELONA60
スピードメーター

200km/h　品番：44202

■ご使用前に必ずご確認ください■

このたびは、デイトナ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
※本商品のご使用前に最終項記載のURL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。
※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容を全て理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、弊社では一切の責任を負いません。
※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も合わせてお渡しください。

■安全上のご注意■

⚠警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

実施

●本商品は運転に支障がないように確実に取り付けてください。身体や生命に危害を及ぼす事故を招く恐れがあります。
●使用中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。症状が改善しない場合は、お買い求めの販売店または当社にご連絡ください。
●配線はハンドル操作に支障が無いよう、結束バンドなどでフレームにしっかりと固定してください。また、組み付け後は配線等を定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となる場合があります。
●走行中は安全を第一に前方不注意にならないようにご使用ください。取り付け角度や天候の状況によってはメーターが見えにくくなる場合もありますが、危険ですのでメーターを注視し続けることは絶対におやめください。
●本商品を公道で使用する場合は道路交通法を遵守して安全に運転してください。

感電注意

●取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。また、使用しない配線は必ず絶縁対策を行なってください。取り付け方法を誤ると、ショートや感電の危険や車両火災の原因となります。

⚠注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

禁止

●本商品は直流 12V 専用です。バッテリーレス車両、及び 6V 車両、交流電装車両への取り付けはできません。
●濡れた手での作業は行なわないでください。感電する可能性があり大変危険です。
●本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
●エンジン周りなど高温になる場所に本体を設置しないでください。熱で内部電子部品が破損する恐れがあります。耐熱温度は約 60℃です。
●ガソリンやブレーキフルードが本体に掛からないよう取り付けしてください。また、その他のケミカル類も使用しないでください。本体が変色する場合があります。

分解禁止

●本商品は非分解式です。分解や改造等は行なわないでください。性能を損ない火災や怪我、感電や故障の原因となります。分解や改造をされた場合、保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。

■安全上のご注意■

水ぬれ禁止

●本商品は完全防水ではありません。メーターケース内の温度差や雨天など湿度の高い日はガラス面が曇る場合があります。ガラス面の曇りに関するクレームは受けかねます。あらかじめご了承ください。（対処方法はQ＆Aをご参照ください。）また、高圧洗浄器などで直接洗浄は行なわないでください。内部に水が浸入する場合があります。

実施

●イモビライザーなどの装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。
●本商品は取り付けに各種端子を使用します。正しく接続できていないと、正常に機能しなかったり、場合によって本商品や車両の破損につながる恐れがあります。取り付け時には配線場所の確認、通電の確認を慎重に行なってください。
●本体は視認を邪魔しない位置で、且つ運転に支障が無いよう取り付けてください。
●本体の取付位置、作動状態によっては道路交通法および保安基準に抵触する可能性があります。必ず、専門の知識を持った整備士に取り付けを依頼してください。

●本商品を使用したことによる物的損害や人的損害などの保証は一切お受けできません。また商品保証は本商品のみが対象になります。
●本商品の取り付け作業には車両のサービスマニュアルと専門知識および技術（配線加工など含む）が必要です。信頼のおける認証工場やオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。

その他

●取り付けは確実に行なってください。また、走行中ブラケットのネジ部が緩まないように確実に締め付けてください。取り付け後、約１００ｋｍ走行しましたら各部のネジ部の増し締めを行なってください。その後は約５００ｋｍ毎必ず点検し、同様の増し締めを行なってください。
●本商品は初期設定を行う際、スタンドなどで車体を上げた状態でタイヤを回す作業が生じます。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車両が倒れたり、タイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、２人以上で作業を行なってください。
●本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合があります。また文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

■取り付け条件■

●本商品は電気式スピードメーターを純正採用している車両用ですが、別売りのデンスピ変換アダプターを使用することで機械式スピードメーターを純正採用している車両（メーターギア&ケーブルを使用する車両）にも取り付けることが出来ます。

●本商品は、以下の条件に当てはまる車両では正常に動作しません。
- 弱っているバッテリーを使用している場合。
  ※アイドリング時の電圧が安定して直流 9V 以上ないと正しく起動しません。
- バッテリーレス及び 6V バッテリー車。※12V 電装にコンバートしたモデルも含む。
- 交流 12V 車。※APE100/50（バッテリーレス車）、XR100M/50M、モンキーR/RT/BAJA など。
- 車速信号にノイズが多い場合や波形に乱れが多い車両。
- 車種固有の専用回路が採用されているなど、純正電気式スピードメーターの車速センサーから 0V-5V 交互パルス信号をピックアップできない場合。
  ※ 例）シャドウ系全モデルは純正電気式スピードメーター車ですが、0V-5V-12V という独自のパルス信号が採用されているため、本商品を使用できません。
- 純正メーターユニット内にオートバイを制御するような回路が内蔵されている場合。
- 注１）純正メーターを取り外すことによって、車速センサーへの電力供給が絶たれてしまう場合。
- 注２）純正機械式スピードメーター装着車で、機械式スピードメーターケーブルの取付口が無い車両。
  ※別売りのデンスピ変換アダプターが取り付けできません。

※オートバイ専用品ですが、汎用品のため車体の仕様によっては取り付けできない場合もございます。個々の車両への実車取り付け、作動の可否につきましてはお答えできません。あらかじめご了承ください。

R44202-01a_2026/02/02

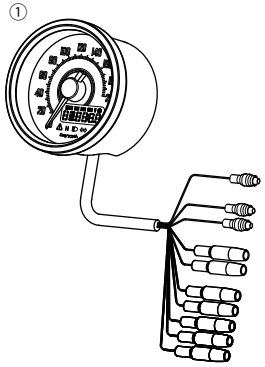
■使用上のご注意■

●本商品は夏場の炎天下のもとでご使用されると、液晶パネルが黒くなる場合があります。
これは使用している液晶パネルの許容温度を超えると起こる現象で、メーター本体の温度を下げる事で解消されます。商品不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。
●本商品は計測値に ± の公差があります。同商品と比較した場合、表示の切り替えタイミング等が全く同じにはならず、表示が異なる場合があります。商品不良ではありませんので、あらかじめご了承ください。
●本商品は高出力のＨＩＤや電装部品などを同時装着した場合、急激な電圧降下やノイズの影響により正常に動作しない場合があります。これら電装品の配線とは極力離して設置してください。

初期設定について
本商品は、車体にそのまま装着しただけでは正常に作動しません。車両にあわせてスピードセンサー設定やタコメーター点火方式設定をすることで使用可能となります。取扱説明書の各種初期設定で入力を行なってからご使用ください。

構成部品

NO	パーツ名	サイズ（mm）	数量
①	メーター本体		1



商品仕様

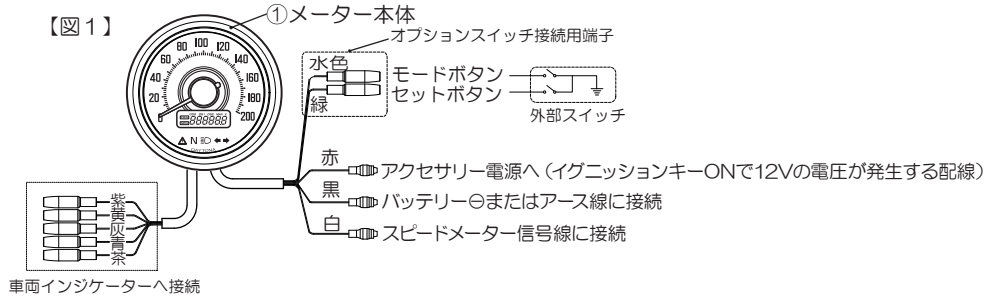
■作動電圧：直流９～16V
■寸法：最大Φ68× 奥行 43mm
（ボディ幅Φ60× リング下奥行 29mm
■消費電流：200mA 以下
通常液晶（白バックライト）

液晶表示
■スピードメーター：０ － 200km/h
■オドメーター：０ － 99999.9ｋm
■トリップメーター（リセット可能）：０ － 99999.9ｋm
■最高速記録
■電圧計：0.0 － 18.0V
■インジケーター：ウインカーL/R、ハイビーム、ニュートラル、ワーニング

※電気式速度センサーが装備されている場合、純正車速センサーに接続可能。

■配線図■

【図１】



参考配線色

配線色	赤色線	黒色線	白色線
接続場所	アクセサリー電源	アース線 またはバッテリーΘ	スピードメーター信号
HONDA	黒/茶 or 桃/青	緑	桃/緑
YAMAHA	赤/白 or 薄茶	黒 or 黒/白	白/黄 or 桃
SUZUKI	橙/緑	黒/白	桃
KAWASAKI	茶/白	黒/黄	桃 or 桃/青

※参考配線色は全ての車両に適合するとは限りません。仕向地や年式によって異なる場合もありますので必ず各車両のサービスマニュアルでご確認ください。

R44202-01b_2026/02/02

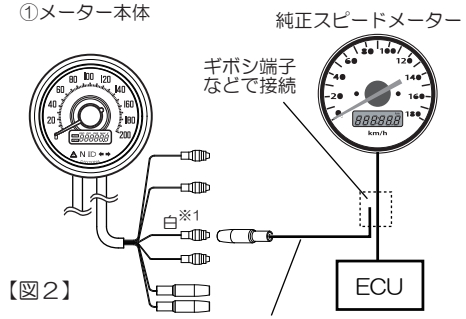
■取付方法■　～配線

①メーター本体のスピードセンサー入力線の接続

●純正スピードメーターが電気式の場合【図２】

▼ギボシ端子などを使用して、車体側の純正スピードメーターからＥＣＵ(エンジンコントロールユニット)につながる配線に①メーター本体のスピードセンサー入力線（白）を取り付けます。

▼ＨＩＤなどの高電圧配線を避けて、①メーター本体のスピードセンサー線（白）を取り回し接続します。
▼接続後、①メーター本体の取り付けへ進みます。



【図２】

（※1.オスギボシ側の白線に接続）

●純正スピードメーターが機械式の場合【図３】

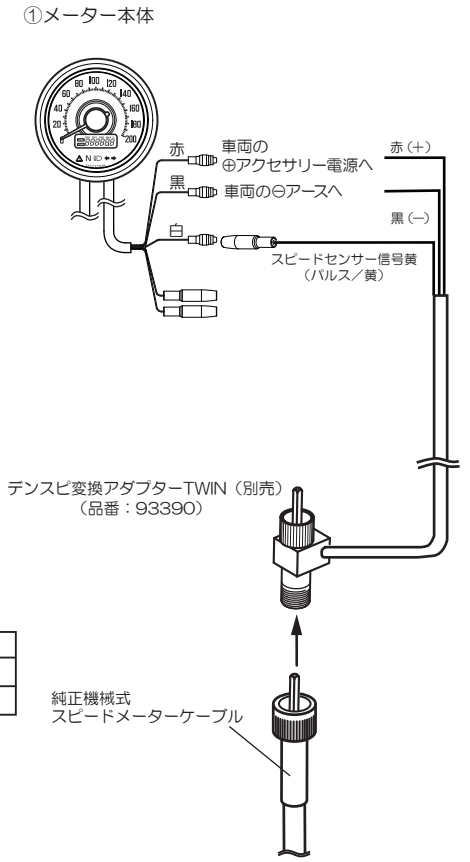
※別売のデンスピ変換アダプターTWIN（品番：93390）が必要です。（その他、取り付けに必要なギボシ端子などは必要に応じてご購入してください。）
取り付け配線色はデンスピ変換アダプターの取扱説明書をご参照ください。

▼純正機械式スピードメーターケーブルにデンスピ変換アダプターを取り付けます。(純正機械式スピードメーターケーブル中心のワイヤーが回転しますので確実に取り付けてください。)
▼デンスピ変換アダプターのパルス線（黄）を、①メーター本体のスピードセンサー線（白）に接続します。
▼デンスピ変換アダプターのプラス線（赤）をアクセサリー電源（イグニションキーＯＮで１２Ｖの電圧が発生する配線）に接続します。

▼デンスピ変換アダプターのマイナス線（黒）をボディアースポイント、またはアース線に接続します。

▼ＨＩＤなどの高電圧配線を避けて配線を取り回し、デンスピ変換アダプター（別売）を結線バンドなどでしっかりと固定してください。
※純正機械式スピードメーターケーブルはできるだけ真っ直ぐに、無理な角度に曲がらないように取り付けてください。

【図３】
〈結線例〉

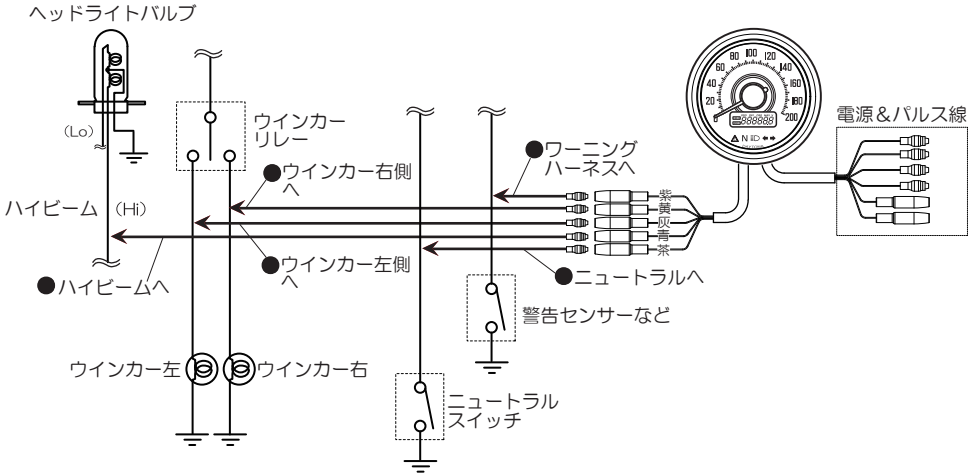


	品番	品名	備考
1	93390	デンスピ変換アダプターTWIN	
2	90664	非接触スピードセンサー	

■取付方法■　～配線

インジケーターへの取り付け

※インジケーターを使用しない場合には配線不要です。ギボシ端子をハーネステープなどで絶縁してください。
▼車両のサービスマニュアルを参照し、各純正インジケーターが接続されていた配線に接続してください。
※インジケーター側の配線図は下の絵をご参照ください。
※下記【配線の接続方法】および【純正配線色例一覧】を参照して、必要に応じて配線を加工して接続してください。
▼全てのLEDが点灯する事を確認して、①メーター本体の取り付けへ進みます。



配線色	入力
紫	－（マイナス）
黄	＋（プラス）
灰	＋（プラス）
青	＋（プラス）
茶	－（マイナス）

－（マイナス）入力線は、アースに落ちると点灯します。
＋（プラス）入力線は、DC12Vの電源が入ると点灯します。

[純正配線色例一覧]

メーター側配線色 ＼	灰	紫	茶	青	黄
	左ウインカー⊕	警告灯⊖	ニュートラル⊖	ハイビーム⊕	右ウインカー⊕
ホンダ	橙色	青色/赤色	若葉色/赤色 or 若葉色	青色	水色
ヤマハ	焦茶色	黒色/赤色	水色	黄色	深緑色
スズキ	黒色	緑色/黄色	青色	黄色	若葉色
カワサキ	緑色	青色/赤色	若葉色	赤色/黒色	灰色
ハーレー	薄紫色	緑色/黄色	薄橙色	白色	茶色

R44202-02a_2026/02/02

■取付方法■　～本体固定

●取り付け時のご注意

保安基準にて速度計については固定位置を、『運転状態での直接視界範囲内』と指定されております。走行中、容易に速度を確認できる位置に取り付けてください。
本製品は精密電子機器ですので、別売の防振メーターステーを使用して振動の影響が少ない場所へ取り付けてください。
エンジン横には装着しないでください。エンジンからの直接の振動は防振メーターステー（別売）では吸収しきれません。また、エンジンからの熱でメーター内部の電子部品が破損する可能性があります。（使用されている電子部品の耐熱温度は約６０℃です。）

①メーター本体の取り付け

▼別売の防振メーターステー（VELONAΦ60 用）を使用します。取り付け方法は取扱説明書を参照してください。
また、締付の際は、指定の締付トルクで締め付けてください。締め過ぎるとメーターのメネジが破損します。
［締付トルク：3N・m］

▼結束バンドなどを使用して、ハンドル操作に支障が無いよう確認しながら配線を固定します。
車両運転中に配線が引っ張られたり、部品の隙間に配線を挟み込んで断線したりしないよう、無理がかからない位置へ慎重に配線を固定してください。

別売品

品番	品名
40266	防振メーターステーVELONAΦ60用（センター曲げ無し）
40267	防振メーターステーVELONAΦ60用（センター10°曲げ）
40268	防振メーターステーVELONAΦ60用（左右共通オフセット曲げ無し）
40269	防振メーターステーVELONAΦ60用（右オフセット10°曲げ）
40270	防振メーターステーVELONAΦ60用（左オフセット10°曲げ）

■各種初期設定■ ～準備

⚠注意

●本商吊は初期設定を行なう際、スタンドなどで車体を上げた状態でタイヤを回す作業が生じます。センタースタンドやレーシングスタンドを使用して、周りの安全を十分に確保してから作業を行なってください。
作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたりタイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、2人以上で作業を行なってください。

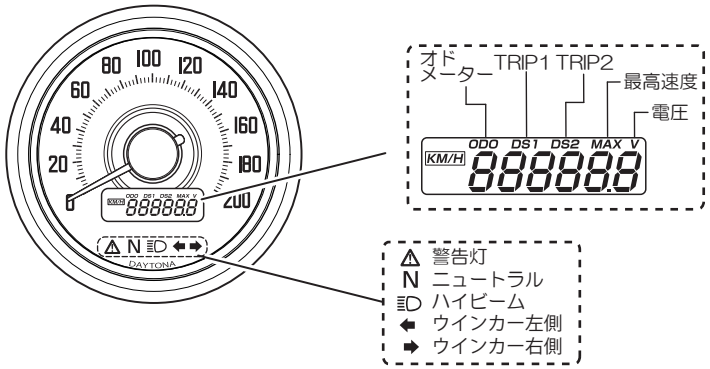
●初期設定前の準備

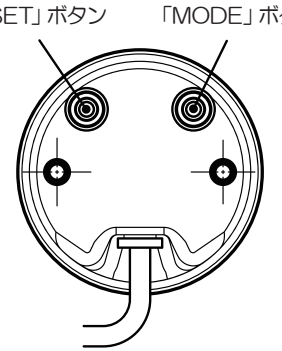
●純正スピードメーターが電気式の混合や機械式スピードメーター装着車でメータギアがエンジンに装善されている車両は、車体をセンタースタンドまだはレーシングスタンドを使用してリアタイヤを浮かせます。（タイヤが回転しても接地しないように、地面とのクリアランスを十分にとってください。設定中は、スタンドが外れないように十分に注意してください。）

●純正スピードメーターが機械式で、メーターギアがフロントホイールに付いている車両は、フロントスタンドを使用してフロントタイヤを浮かせます。（タイヤが回転しても接地しないように、地面とのクリアランスを十分にとってください。設定中は、スタンドが外れないように十分に注意してください。フロントスタンドは、必すリアスタンドと併用して車体を固定してください。）

●スタンドなどでタイヤを浮かせることが出来ない場合には、タイヤを10回転程回せるぐらい移動できる広い場所で作業を行なってください。

●各部名称とボタン操作の説明





R44202-02b_2026/02/02

■モード切替と設定■

通常時のモード切替（サブモニター）

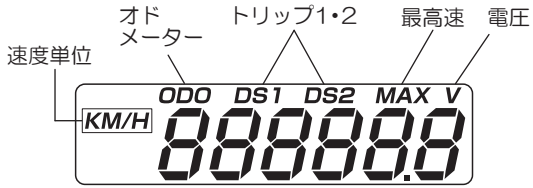
操作ボタンのアイコン表示

- SET ＝セットボタンを１回押します（１秒以内）
- SET ＝セットボタンを２秒 長押しします
- MODE ＝モードボタンを１回押します（１秒以内）
- MODE ＝モードボタンを２秒 長押しします
- MODE ＋ SET ＝ モードボタンとセットボタンを同時に２秒 長押しします

ワンポイント

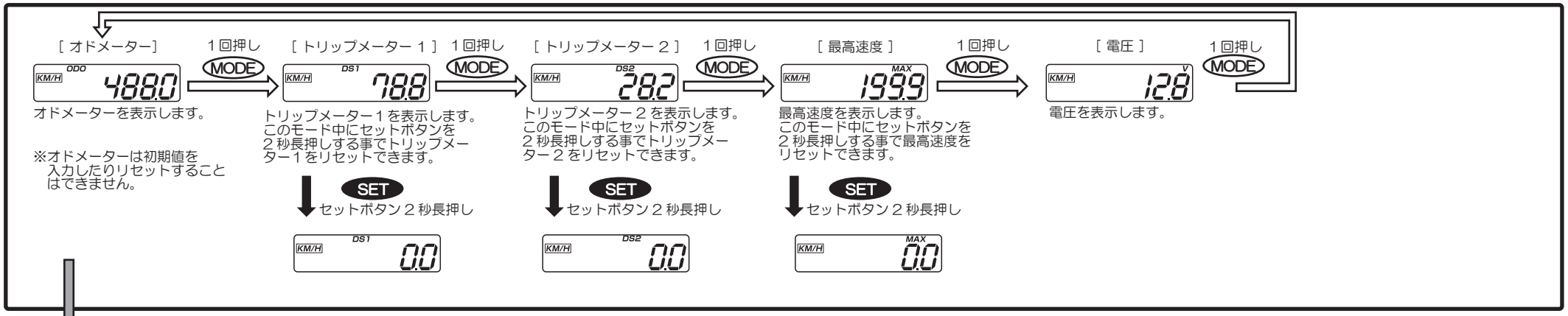
スピードセンサー設定は各項目で一連の流れになります。作業を開始する前に、事前に登録の各項目を一読しておくと設定がスムーズに行なえます。

サブモニター表示説明



KM/H	：現在の速度表示の単位を表示します。
ODO	：オドメーターを表示中に点灯します。
DS 1	：TRIP-1 を表示中に点灯します。
DS 2	：TRIP-2 を表示中に点灯します。
MAX	：最高速度を表示中に点灯します。
V	：電圧を表示中に点灯します。

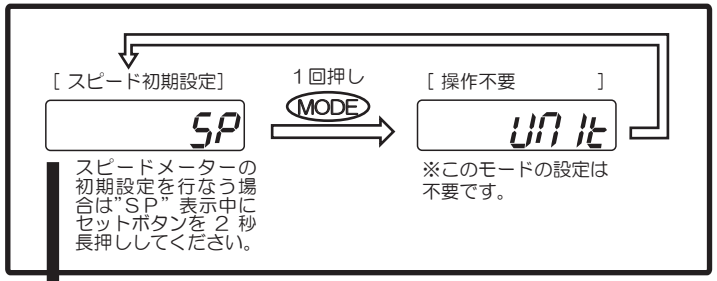
●電源投入時に表示される画面で、モードボタンを１回（１秒以内）押すごとにサブモニターの表示モードが切り替わります。（白矢印 ⇨）
※画面に表示が出ないときには２ページ、３ページの配線図や取付方法をご確認ください。



S

MODE ＋ SET
同時に２秒長押し

通常時にモードボタンとセットボタンを同時に２秒長押しする事で設定選択画面に切り替えることがができます。



SET
セットボタン２秒長押し
スピードセンサー設定に移ります。

スピードセンサー設定の説明は６ページへ ➡

R44202-03a_2026/02/02

■スピードセンサー設定■

●スピードセンサーの登録方法は以下の３種類から選んで登録します。

A タイヤ外周の長さ、タイヤ１回転時のパルス数を測定し、入力値を計算後、オートモードでタイヤを回して入力値を登録する（手動）。（純正スピードメーターは必要ありません）（推奨）

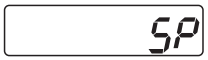
B オートモードで１ｋｍ走行したときのパルス数を登録する。（純正スピードメーターが必要）７ページへ

C ４０ｋｍ/ｈの一定速度で走行中にボタンを押して登録する。（純正スピードメーターが必要） ７ページへ

A スピードセンサーの登録を手動で行う場合（マニュアル登録モード）（推奨）

手順 1. パルス計測：パルス登録モードの①オートカウントモードでタイヤ１０回転で発生するスピードパルス数を計測します。
手順 2. タイヤ外周の測定：スピードセンサーが装着されている方のタイヤの外周を測定します。
手順 3. 入力値計算 :①オートカウントモードで計測したパルス数とタイヤ外周から、パルス登録するための数値を計算します。
手順 4. パルス登録：算出した数値をパルス登録モードの②マニュアルモードで登録します。

手順 1．パルス計測



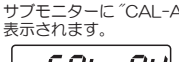
5ページの **S** の手順後、”ＳＰ” 表示中にセットボタンを２秒長押しする事でスピードセンサーの初期設定をすることができます。

手順がわからなくなったら？
手順がわからなくなったり、間違ってしまった場合、Error 表示になってしまった場合には、一度イグニションキーを OFF にして、始めからやり直してください。

SET ２秒長押し

パルス登録モード

オートカウントモード
サブモニターに〝CAL-AU〟と表示されます。



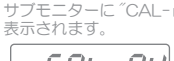
MODE

40km/h 登録モード
サブモニターに〝CAL-SA〟と表示されます。

※このモードは使用しません。

MODE

マニュアル登録モード
サブモニターに〝CAL-nU〟と表示されます。



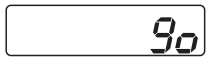
※この手順では使用しませんのでオートカウントモードに戻してください

MODE

※パルス登録モードは約３０秒間ボタン入力を行わないと通常表示に戻ります。

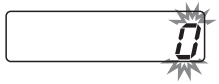
SET ２秒長押し

サブモニターに〝CAL-AU〟と表示されい状態で セットボタンを２秒長押しするとオートカウントモードに移ります。



２秒長押し後は〝go”表示になります。モードボタンを１回押すと〝０”が点滅表示になりパルス計測に移ります。

１回押し MODE



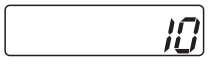
“０”が点滅してスピードパルスの信号を受け付ける状態になったらスピードセンサーが付いている方のタイヤ（電気式スピードメーター取付車ではリアタイヤ、フロントタイヤからデンスピ変換アダプター等を使用している場合にはフロントタイヤ）を正確に１０回転回してその時に表示されている数値を読み取り数値を控えます。
（タイヤを浮かせることが出来ない場合には、タイヤの一部に印を付けてタイヤが１０回転回る距離だけ車両を動かしてください。）

パルス数値（タイヤ１０回転）
Ⓐ ＿＿＿＿

（記入参考例：パルス数値（タイヤ１０回転）=10）

数字が変化しない場合には④スピードセンサーハーネス（白）の接続を確認してください。
表示を確認したらモードボタンを１回押して計測を停止します。

１回押し MODE



モードボタンを１回押すと計測を停止します。セットボタンを２秒長押しすると通常表示に戻ります。

SET ２秒長押し

通常表示に戻ったら
手順３．タイヤ外周の測定に進んでください。

※入力数値が少ないと Error 表示となる場合がありますがそのまま手順２へ進んでください。

手順２．タイヤ外周の測定

▼スピードセンサーが付いている方のタイヤ（電気式スピードメーター取付車ではリアタイヤ、フロントタイヤからメーターギア変換アダプターを使用している場合にはフロントタイヤ）の外周をメジャー等で測り数値を控えます。

タイヤ外周寸法 = Ⓑ ＿＿＿＿ （記入参考例：タイヤ外周寸法=1205mm）

手順３．入力値計算

下の計算式に当てはめて計算します。
（下の計算式は１ｋｍ走行したときに何回パルス信号が発生するかを実走行しないで計算で求める式になります。）

タイヤ外周 [ｋｍ]= Ⓑの値を記入 **÷ 1000000 =** Ⓒ ＿＿＿＿ **タイヤ外周寸法 [ｋｍ]**

パルス数値 [タイヤ１回転]= Ⓐの値を記入 **÷ 10 =** Ⓓ ＿＿＿＿ **パルス数値 [タイヤ１回転]**

入力値= 1÷ Ⓒの値を記入 **×** Ⓓの値を記入 **=** Ⓔ ＿＿＿＿ **手順５．でこの数値を入力**

例： タイヤ外周寸法=1205mm、 パルス数値（タイヤ 10 回転）=10（Ⓒ） とした時
タイヤ外周寸法をミリメートルからキロメートルに換算 → 1205mm ÷ 1000000 = **0.001205ｋｍ**
パルス数値（タイヤ 10 回転）をタイヤ1回転のパルス数値に変更 → 10 ÷ 10 = **1（Ⓓ）**

【式】 入力値＝１[ｋｍ] ÷ タイヤ外周寸法 [ｋｍ] × タイヤ１周のパルス数（10 周のパルス数 ÷10）

例の数値で式を求めると
入力値=1 ÷ 0.001205 × 1 =829.8755...（Ⓔ） 四捨五入すると入力値は **例 830** になります。

初期設定自動計算フォーム
QRコードを携帯電話で読み込んでご使用ください。
タイヤ外周（mm）とタイヤを 10 周回して検出されたパルス数値を入力すると自動で入力値を計算します。
https://pulse-setup.daytona-mc.jp/

手順４．パルス登録

5ページの **S** の手順後、”ＳＰ” 表示中にセットボタンを 2 秒長押ししてスピードセンサーの初期設定画面に切り替えます。

SET ２秒長押し

パルス登録モード

オートカウントモード
サブモニターに〝CAL-AU〟と表示されます。

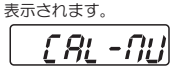
MODE

40km/h 登録モード
サブモニターに〝CAL-SA〟と表示されます。

※このモードは使用しません。

MODE

マニュアル登録モード
サブモニターに〝CAL-nU〟と表示されます。



MODE

※この手順では使用しませんので②マニュアルモードに戻してください。

※パルス登録モードは約３０秒間ボタン入力を行わないと通常表示に戻ります。

SET ２秒長押し

サブモニターに〝CAL-nU〟と表示されている状態で セットボタンを２秒長押しするとマニュアル登録モードに移ります。

２秒長押し後は、前回設定したパルス値を表示します。
初期設定では〝00000〟を表示します。モードボタンを１回押すと万の桁〝０”が点滅表示になりパルス入力に移ります。

MODE １回押し

SET 数回押し

点滅している桁をセットボタンを数回押して数字を入力します。（例 8133 を入力）
モードボタンを 1 回押すと桁が切り替わります。

１回押し MODE

SET 数回押し

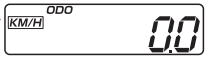
セットボタンを押すごとに数字が 1,2,3,･･･と上がり、９までいくと0に戻ります。数字を入力してモードボタンで桁移動をし、各桁の数字を入力してください。

MODE １回押し（桁移動）

SET 数回押し

一の桁まで数字の入力が完了したらセットボタンを２秒長押しすると通常表示に戻ります。

２秒長押し SET



通常表示に戻ったら、
スピードセンサー設定は終了です。
スピードメーターが正しく表示するか確認してください。

■スピードセンサー設定■　続き

A タイヤ外周の長さ、タイヤ１回転時のパルス数を測定し、入力値を計算後、オートモードでタイヤを回して入力値を登録する（手動）。（純正スピードメーターは必要ありません）（推奨） ６ページへ

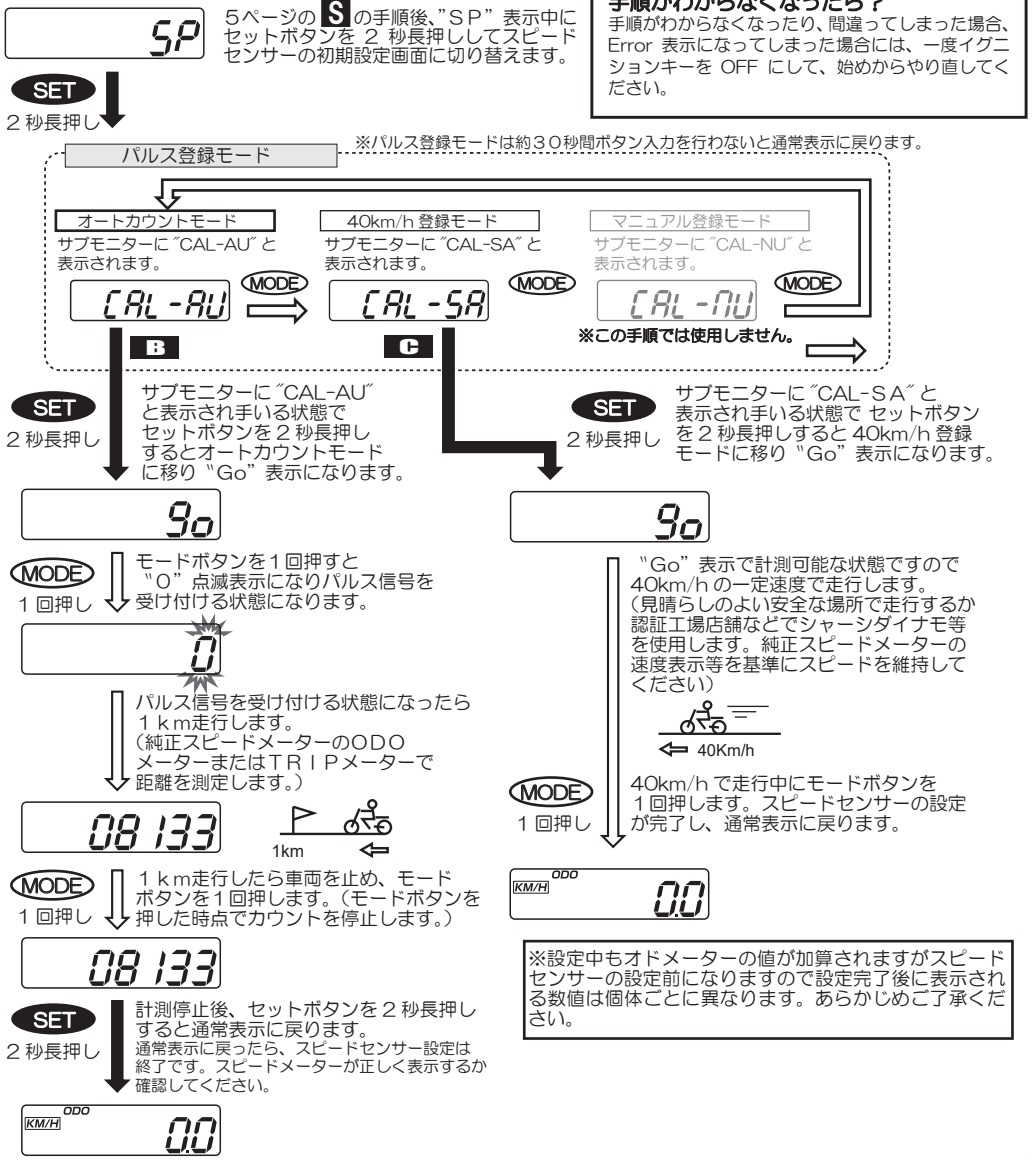
B オートモードで１ｋｍ走行したときのパルス数を登録する。（純正スピードメーターが必要）

C ４０ｋｍ/ｈの一定速度で走行中にボタンを押して登録する。（純正スピードメーターが必要）

B オートモードで１ｋｍ走行したときのパルス数を登録する。（オートカウントモード）

C ４０ｋｍ/ｈの一定速度で走行中にボタンを押して登録する（40ｋｍ/ｈ登録モード）

手順がわからなくなったら？
手順がわからなくなったり、間違ってしまった場合、Error 表示になってしまった場合には、一度イグニションキーを OFF にして、始めからやり直してください。



※設定中もオドメーターの値が加算されますがスピードセンサーの設定前になりますので設定完了後に表示される数値は個体ごとに異なります。あらかじめご了承ください。

■トラブルシューティング■

●本体の電源が入らない

電源が供給されていない可能性があります。２ページの配線図を確認しながら電源ハーネスがしっかり接続されているか確認してください。ボディアースの場合はボディの塗装をしっかりと剥がして接続してください。

●スピードセンサーパルス入力のオートカウントモードでパルスが計測出来ない。

スピードメーター信号が入力できていない可能性があります。スピードセンサーハーネスがしっかりと接続されているか確認してください。別売りのデンスピ変換アダプターや非接触スピードセンサーを使用している場合にはアダプターやセンサーの電源がうまく取れていない可能性があります。取付方法 ”●純正スピードメーターが機械式の場合 ” を確認して再度接続をしてください。車両により、純正のスピードメーターを外すことによって車速センサーへの電源供給が絶たれてしまう場合があります。その場合には車体の車速センサーの電源を別途配線していただく必要があります。

●走行中、スピード表示が安定しない。

車体ノイズを拾ってしまい、信号がうまく認識されていない可能性があります。フラグコードやイグニッションコイル等のノイズによりスピードメーター信号がうまく読み取れていない可能性があります。それらの高電圧ユニット付近を避けて配線を取り回してください。高電圧ユニット付近から配線を離せない場合は、配線をアルミテープ等で巻くなどしてノイズ対策を行なってください。

スピードメーター信号が安定して入力できていない可能性があります。スピードセンサーハーネスがしっかりと純正スピードメーターのパルス線に接続されているか確認してください。

別売りの非接触スピードセンサーを使用している場合には検出対象物の材質や形状によってスピードメーター信号が検出しにくい場合があります。非接触スピードセンサーの取扱説明書を参照し、センサー取付位置や、検出対象物と検出面の距離を狭めてください。

●走行中、表示速度が実際の速度と違う。

スピードセンサーの設定時、パルス計測値や距離入力値に誤差があった場合には、表示がずれる場合があります。
速度表示に大きな誤差があった場合には、再度、スピードセンサー設定を行なってください。小さい誤差があった場合には、任意で誤差を調整することが出来ます。実際の速度よりも表示速度が遅かった場合は、スピードセンサー設定パルス登録モードのマニュアル登録モードで、パルス入力値の数字を下げてください。（速度表示を 10% あげたい場合、入力値を 10% 少なく入力してください。）
例　元の入力値＝5500 だった場合→5500 - 550（10%）=4950 を入力（入力値１０%ダウン → 表示数値 10%アップ）

※保安基準「速度計の技術基準」の規定内に入るように設定してください。（保安基準第 46 条（速度計等））
速度計の指数と自動車の走行時の速度との関係式

$0 \leqq V_1 - V_2 \leqq V_2 / 10 + 8$　　V_1：速度計の指数（ｋｍ/ｈ）　V_2：自動車の走行時の速度（ｋｍ/ｈ）

※本商品は、低速時よりも高速時のほうが表示誤差が大きくなります。
純正スピードメーターと速度表示の比較をする場合は、40ｋｍ/ｈ以上で比較を行ない、誤差を調整してください。

●オドメーターの変更が出来ない。

オドメーターを現在の走行距離に合わせたりリセットすることは出来ません。リセットできるのはトリップメーター１、２になります。

●針が振れてしまう。（大きく振れる）

針が断続的に大きく振り切れる、または完全に振り切れてしまう場合、配線の接触不良が考えられます。電源ハーネスがしっかり接続されているか確認してください。ボディアースの場合はボディの塗装をしっかりと剥がして接続してください。
他に、バッテリーが弱っていたりレギュレーターが不調などで電圧が不安定な状態が考えられます。セルモーターが回る状態であっても車体ノイズ等で瞬間的に電圧が上下振れてしま うため 、メーターの動きが不安定になる場合があります。バッテリーを充電するまたは新品交換してください。レギュレーターも車両のサービスマニュアルを参照して点検を行なってください。
コンデンサーハーネス（品番：98642 ／別売）をスピードメーター電源またはスピードセンサー電源に使用することで改善する場合があります。

●針が振れてしまう。（小刻みに振れる）

エンジンの回転域、速度や路面状況により受ける振動が針に影響している可能性があります。防振ステーなどを使用して防振対策を行なっていただくか、メーターに振動が伝わらないよう①メーター本体の固定位置を変更してください。

●針の位置が０にならない、途中で止まっている。

電源が入っていない状態でも、振動や衝撃を受けることで針の位置が動いてしまいます。電源をＯＮにするとオープニング作動後に０に戻ります。電源をＯＮにしてもオープニング作動しない場合には各部の配線が接触不良を起こしていないか確認してください。

●レンズが曇る、結露して表示が見えない。

雨天時の走行や気温の変化によって、本体レンズ裏側に水滴が付いたり、結露して曇ってしまう場合があります。通常は時間の経過とともに消えますが、あまりにひどい場合には以下のことをお試しください。
本体裏の設定ボタン（モードボタン、セットボタン）のゴムを外します。風通しの良いところで数時間置き、本体内の水分を取り除いてください。レンズの水滴や曇りが取れたら設定ボタンのゴムをはめ込み、もとの状態に戻してください。

■トラブルシューティング■

●液晶パネルが黒くなり表示が見えなくなる。

直射日光がメーターに当たり続けて本体内部が一定の温度を超えてしまうと液晶パネルが黒化してしまう場合があります。液晶部品の性質上の問題で、商品の仕様となりますので、症状が発生した場合には日陰等でメーターの温度を下げていただくことにより解消されます。

『表示が安定しないときには』
他の取り付け方法をお試しください。
取り付け方法の変更で表示が安定する場合があります。

■ オプション品 ■

パーツ名	品番	備考
2ボタンプッシュスイッチ（ブラック）	91747	スイッチボディ幅12mm（メーターなど微弱電流用） Φ22.2＆Φ25.4サイズのハンドルバーに対応
コンデンサーハーネス	98642	コンデンサーハーネス

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から 1 年間となります。2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。3. 下記のアドレス（または QR コード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定
https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php

※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。

■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ
https://www.daytona.co.jp/contact/index.php

株式会社 デイトナ
東証スタンダード上場
〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
https://www.daytona.co.jp

転載禁止 本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止